

PL-1000簡易取扱マニュアル

このマニュアルは、基本的な使用方法を簡単にまとめたものです。

83KHzの周波数を用いて、最大法で位置探査を行い
引上げ方式で深度測定を行う場合のみを記載しております。

記載している以外にも、様々な周波数や探査モード及び深度測定方法を
搭載しております。

このマニュアル以外の機能をお使いになろうとする場合は
取扱説明書を御覧下さい。

PL-1000には送信出力方式が2種類搭載されております。


配管の立上がり部分やバルブ等が無い場合や、

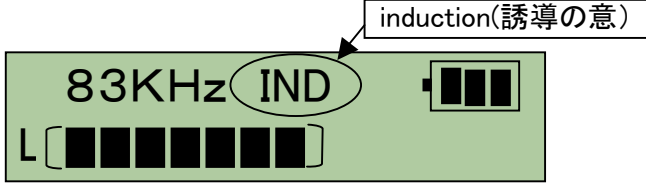
有無も不明な配管を探そうとする場合は誘導法を選択しますので

1ページと3ページを御覧下さい。

1種類の配管ルートを追っていく目的で、配管の立上がり等がある場合は
直接法を選択しますので、2ページと3ページを御覧下さい。

1. 送信器の使用方法(誘導法)

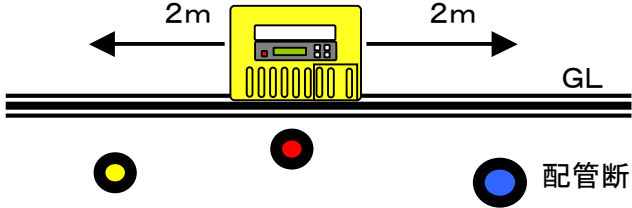

 を押して電源をいれると、液晶が下のような誘導法の画面になります。



以上で設定は終了です。送信器を設置しましょう。

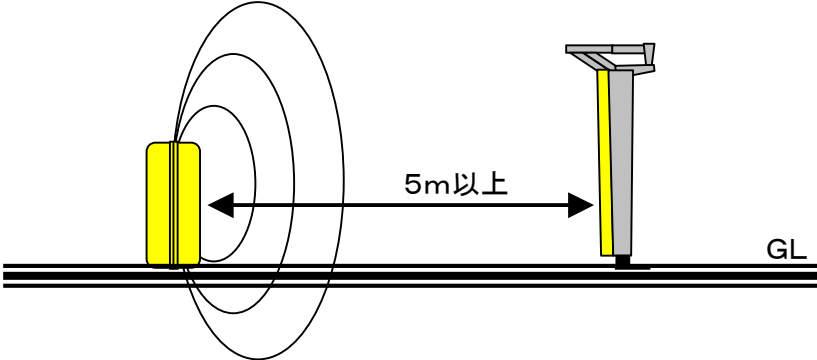
送信器の持ち手(又はその延長線上)が予想される管路に対して直角に交わるように地面に置きます。

以上で送信器の設置も終了です。以下の2点に注意して下さい。



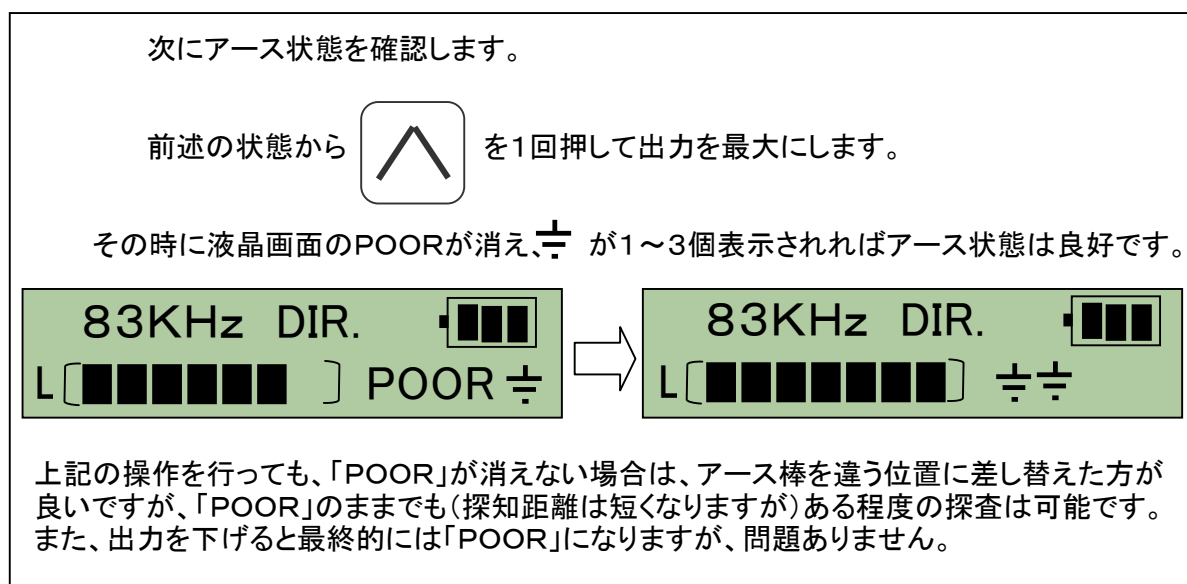
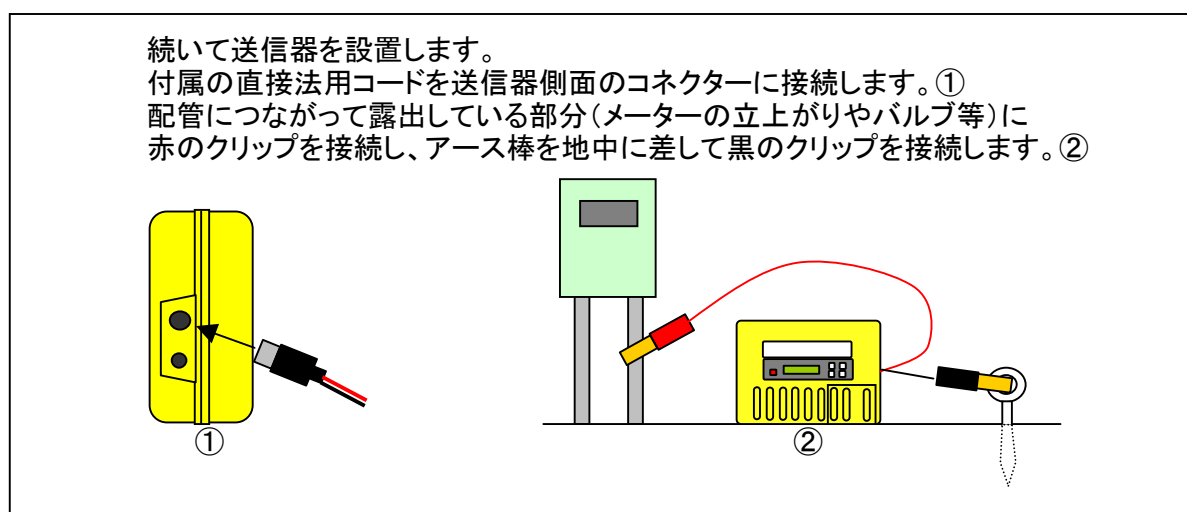
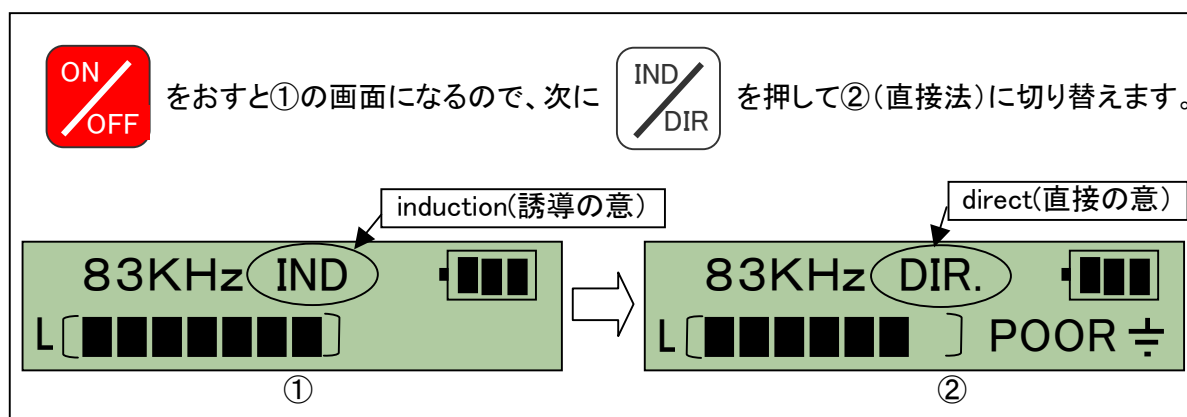
誘導法の場合送信器を中心にして左右2m幅の下にあるものに対して信号電流を流す事が可能です

● 配管断面



誘導法の場合、送受信器間の距離を5m以上、出来れば10m程度離すようにして下さい

2. 送信器の使用方法(直接法)



以上で送信器の設定・設置は終了です。

3. 受信器の使用方法

